

掛川第三地区まちづくり協議会
まちづくり中期事業計画(案)
 (平成28年度～平成32年度)

1 計画の概要

- (1)策定目的
 掛川第三地区のまちづくりのありたい姿(ビジョン)を明確にして、その姿を実現するために必要な活動を明確にする。
- (2)計画期間
 平成28年度から平成32年度までの5カ年計画とし、毎年度PDCAを回しながら必要に応じて適切な見直しを行う。
- (3)策定方法
 アンケート調査で基本的な情報を収集した後、活動に関係する諸団体によるワークショップを行い取りまとめた。

2 地区の現状

当地区は市の中心市街地に位置し、主に旧東海道沿いに拓けた古くからの商店街や住宅と昭和30年代から相次いで行われた土地区画整理事業によって新しく生み出された住宅地で構成されている。昨年実施したアンケート調査によると、71%の回答者がJR掛川駅、東名ICに近く、津波、がけ崩れ等の心配もない大変住み良い地域であると回答している。しかしながら、この10年間で当地区の人口は4.0%の減、高齢者人口は18%の増と、少子高齢化の波が当地区にも急速に押し寄せている。

3 地区の課題

アンケート調査結果によると、多くの住民が住みよい地域と回答する一方で、公的サービスや各種支援制度の狭間にある日常的なちょっとした困り事を抱えていることがわかった。

【回答が多かった要支援内容】

- ①高齢者支援(買い物付添、病院付添、話し相手など)
- ②家事・趣味支援(粗大ごみ出し、植木刈込、草取り、ゲーム指導など)
- ③子育て支援(子どもの世話、勉強・運動指導、送迎など)

4 将来ビジョン

” 支え合い 心豊かなまちづくり ”

5 取り組みの内容

事業名	事業内容	H28	H29	H30	H31	H32	
何でも手伝い隊	高齢者支援 (買い物付添、病院付添)	実施	→				
	家事・趣味支援 (粗大ごみ、植木刈込、草取り)	実施	→				
	子育て支援 (見守り、勉強・運動指導等)	検討	実施	→			
地域環境整備事業	地区内の環境整備	実施	→				

少子高齢化に対応する活動として、「何でも手伝い隊」を結成し、公的サービスや各種支援制度の狭間にある日常的なちょっとした困りごとを住民同士で助け合う。

今後、新たな活動の提案があれば、プロジェクトを立ち上げ検討し、計画に反映させる。

平成28年3月20日
 掛川第三地区まちづくり設立準備委員会
 委員長 田中重捷